

校長室から

(R6.9.2)

～校長の独り言（思いをのせて）～

文責：菅 昌徳

はじめに

みなさん こんにちは、

突然ではありますが、今学期から子供たちの様子や本校での取り組みも紹介しつつ、子供たちとの学びやふれあいの中で私自身が感じたこと、子どもたちに感じてほしいことなどを、思いつくまま、感じるままに独り言として皆様にお伝えしようという思いでキーボードをたたいた次第です。勝手な独り言ではありますが、思いに共感していただけると幸いです。

よろしくお願いいたします。

2学期が始まりました。

本校、分教室では、今日（9月2日（月））から2学期が始まりました。

それぞれに思いをもって2学期を向かえる子どもたちの姿はとても素敵で、「また、よろしくね」という思いが溢れ、つい笑顔になってしまいました。始業式では、「夏休みの出来事は・・・」という話をしました。44日間の長い休みの中では、楽しかったこと、嫌だったこと、悲しかったこと、がんばったこと、うれしかったことなど、たくさんの出来事があったことなのでしょう。子どもたちの学校では感じるできない令和6年夏休みのたくさんの出来事は、今年しか感じることのできない大切な思い出であり、自分だけの大切な宝物だと思っています。この思い出は、自分の心の宝箱にしまうことで自分の力となり、自分らしさを発揮するパワーになると信じています。明日（9月3日（火））から本格的に学校生活が始まります。

さあ～みんな、この夏に体験、経験したことを自分の力に変えて、いろいろなことをやってみよう。



合い言葉は「やってみなけりゃ 分からない」

今日から始まる2学期のいろいろな活動に、自分の思いを大切にしながら向き合っていきましょう。そして、自分や友達に“いいね👍”をたくさん付けていきましょう。